

焼津市転入外国籍住民向けゴミ分別方法

説明動画作成プロジェクト(英語・日本語)



キーワード: 官学連携、多文化共生、外国籍住民支援、多言語動画

○活動に取り組んだきっかけ・背景

焼津市は「焼津市多文化共生推進計画」(2021年)に基づき、地域社会や市民と連携した多文化共生社会の推進事業を進めています。これまで焼津市の国際交流イベントへの学生スタッフ派遣など、市民協働課と連携した活動を行ってきましたが、2021年度は焼津市に転入してきた外国籍住民に家庭ゴミの分別方法を理解してもらうための動画を英語と日本語で作成するという活動を行いました。



イラストを使った動画の1コマ

○活動の目的

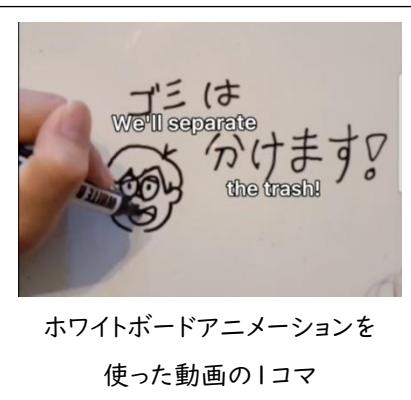
焼津市の多文化共生推進計画の中には、外国籍住民が生活に必要とする情報を提供し、生活上の問題を解決するという目標が掲げられています。特に家庭ゴミの分別に関して焼津市には多くのルールがあり、外国籍住民にとっては生活上の不安になっているという現状がありました。学生が英語およびやさしい日本語でわかりやすい動画を作成することにより、「ゴミ分別は難しくない」ということを理解してもらうことを目的としました。

○具体的な内容

外国语学部グローバルコミュニケーション学科専攻科目「臨地実習 A」の臨地活動として指定し、2021年8月～2022年1月にかけて、受講者8名がまず日本語で2種類の動画を作成し、その後それを翻訳した英語版を作成しました。焼津市の担当者の意見を取り入れながら調整を重ね、3月に完成した動画を焼津市に納品しました。2022年度にはタガログ語版、ポルトガル語版の作成も進んでいます。

○期待される効果など

焼津市からは「地域課題解決の担い手として大学生の力は有益で、参加学生が個々の力を充分に発揮し良い成果が出せるよう行政としても大学との連携を密にし、適切な導きをすることが重要」という講評をいただきました。今回のような外国语学部生の資質や能力に合った地域貢献活動は、学生の主体的な学修を促すために大きな効果があるといえます。



ホワイトボードアニメーションを使った動画の1コマ



焼津市でのプレゼンテーション

活動メンバー	増井 実子 外国语学部・ グローバルコミュニケーション学科 教授

連携先：焼津市役所市民協働課、および環境課